

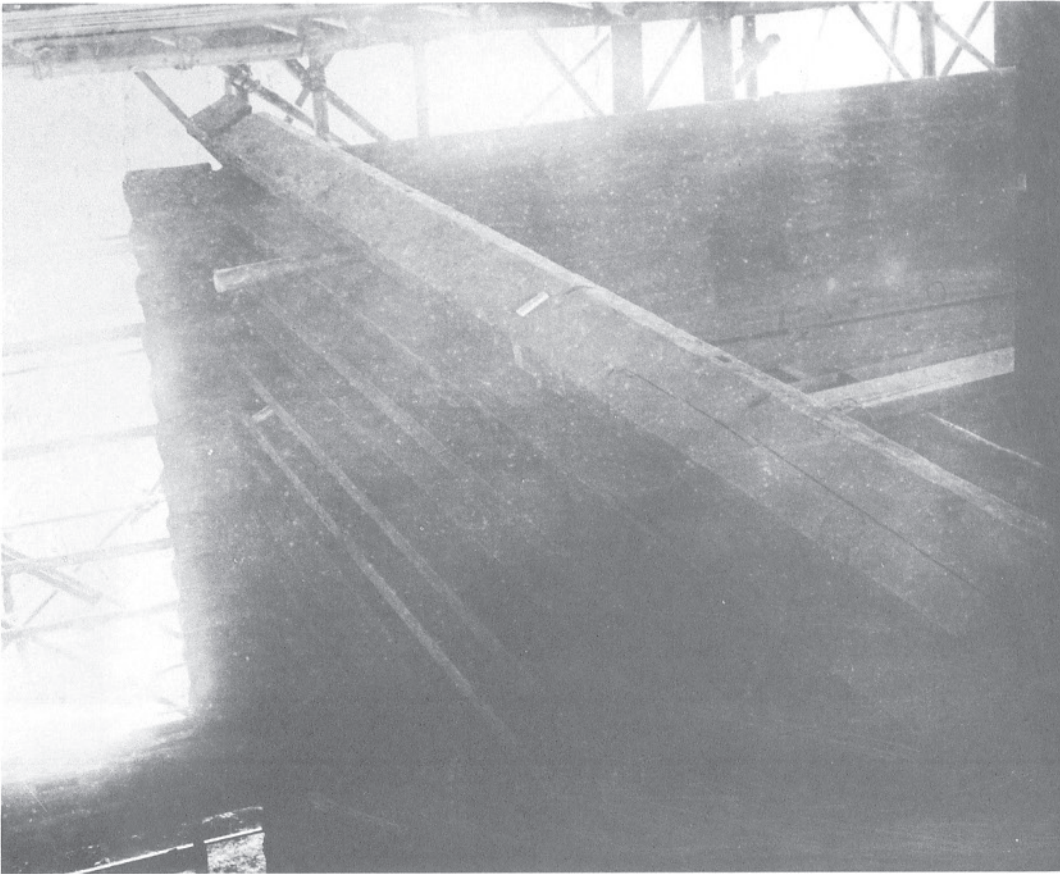
179 大正修理解体前の三段校木東北隅部詳細

「第二六号 宝庫北倉東北隅ヨリ校木組手折損現況」。三段校木と舟肘木の間大きめの銅木がさされている状況もわかる。三段校木が大きく下がっており、隅木の軒支柱頂部の状況もよくわかる。



180 大正修理解体前の丸桁西北隅部詳細

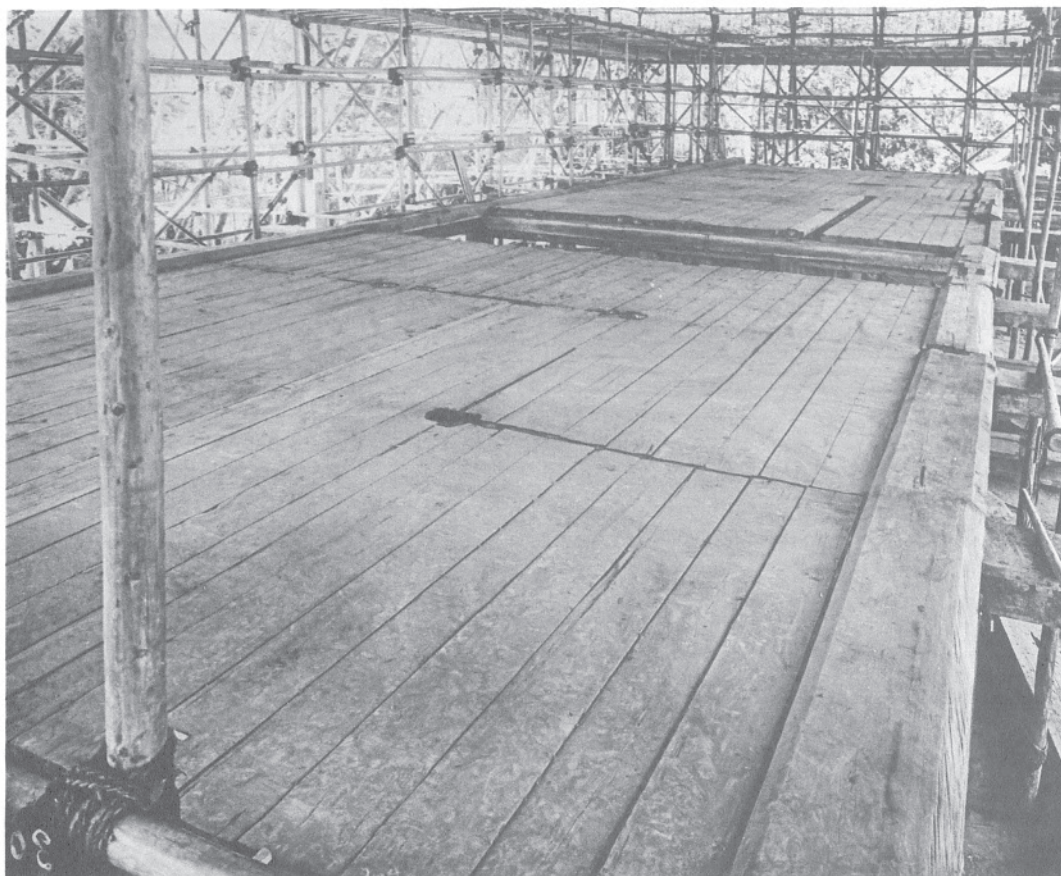
「第二七号 宝庫北倉西北隅校木組手朽損ヲ見タル現況」。西より見る。この写真でも、隅木の軒支柱の頂部と三段校木及び舟肘木の状況がわかる。舟肘木は中央下端の仕口の様子もわかる。



181 大正修理解体中の北倉校木
「第二八号 宝庫中倉羽目板北倉校木取解中現況」。中央の羽目板を解体し、北倉と中倉の間の校木の解体に移ったところの様子と思われる。

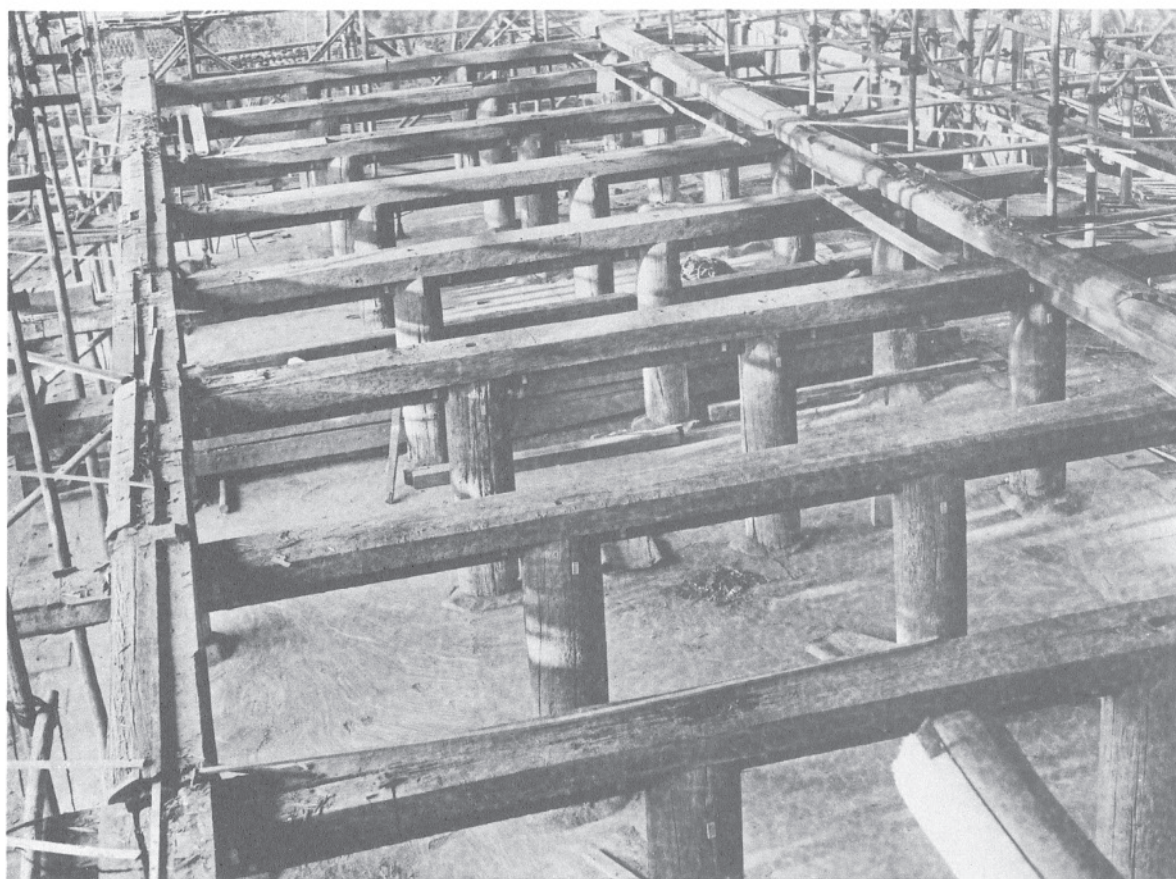


182 大正修理解体中の南倉・中倉境
「第二九号 宝庫南側ヨリ南倉入口中倉北倉校木取解ノ現況」。南倉の校木を扉の上まで解体したところ。中倉の羽目板は既に解体され、奥には北倉の校木が見える。



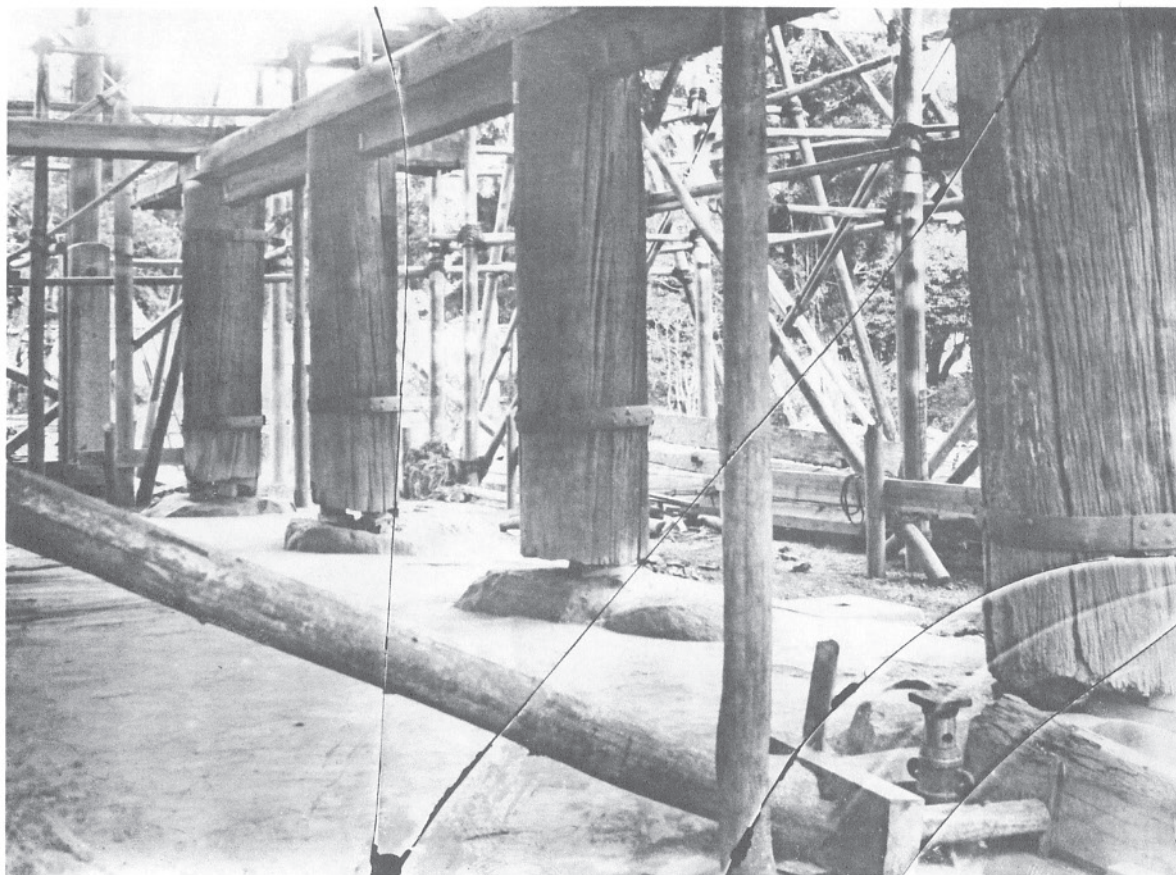
183 大正修理時の校木及び羽目板解体後の状況

「第三〇号 宝庫南倉南側ヨリ南及北倉校木中倉羽目板取解中現況」。各倉の校木・羽目板を解体し、床板のみとなったところ。台輪は内側にも面が取られている様子が見える。



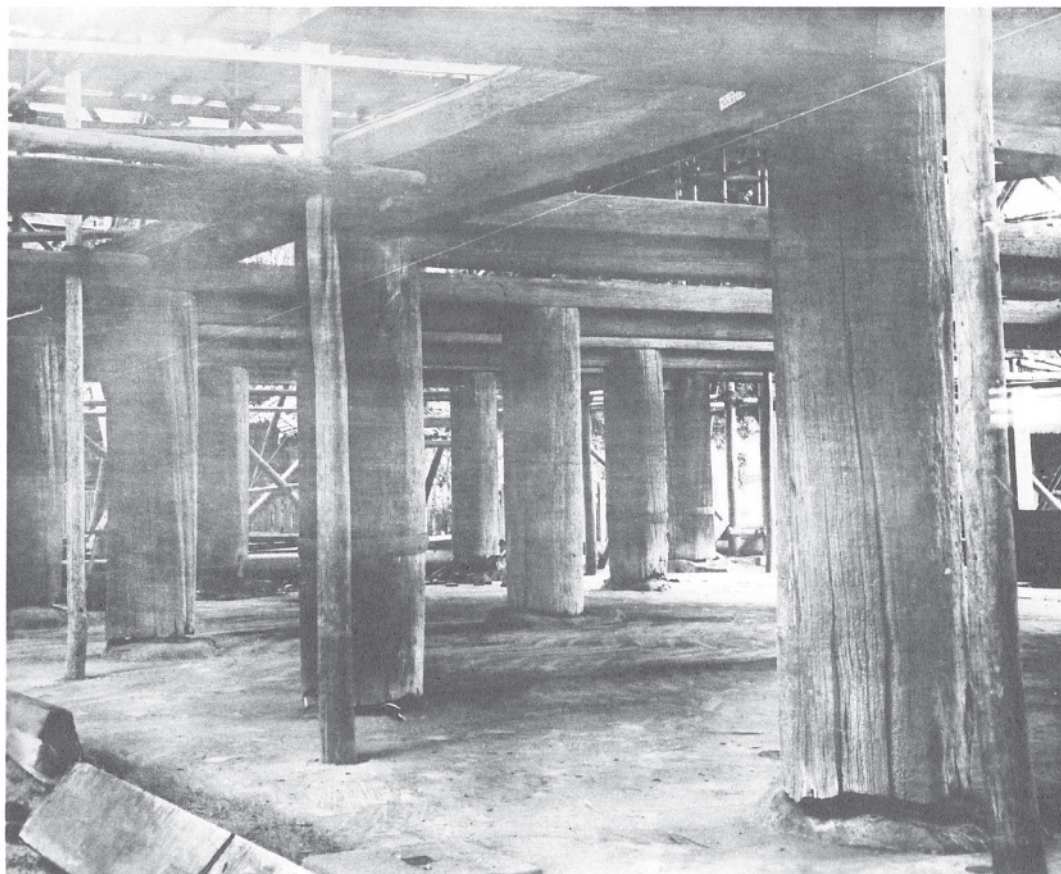
184 大正修理解体中の束柱・台輪の状況

「第三一号 宝庫北倉北側ヨリ北、中、南倉床板取解ノ現況」。床板を解体し、束柱と台輪だけとなった状況。



185 大正修理解体中の南倉南端東柱揚家の状況

「第三二号 宝庫西側ヨリ南倉床下南側大樑根元水平揚ゲタル現況」。南倉南端の東柱列を揚げている様子を西北より見る。原版の乾板は割れているようである。



186 大正修理解体中の中倉西列東柱の状況

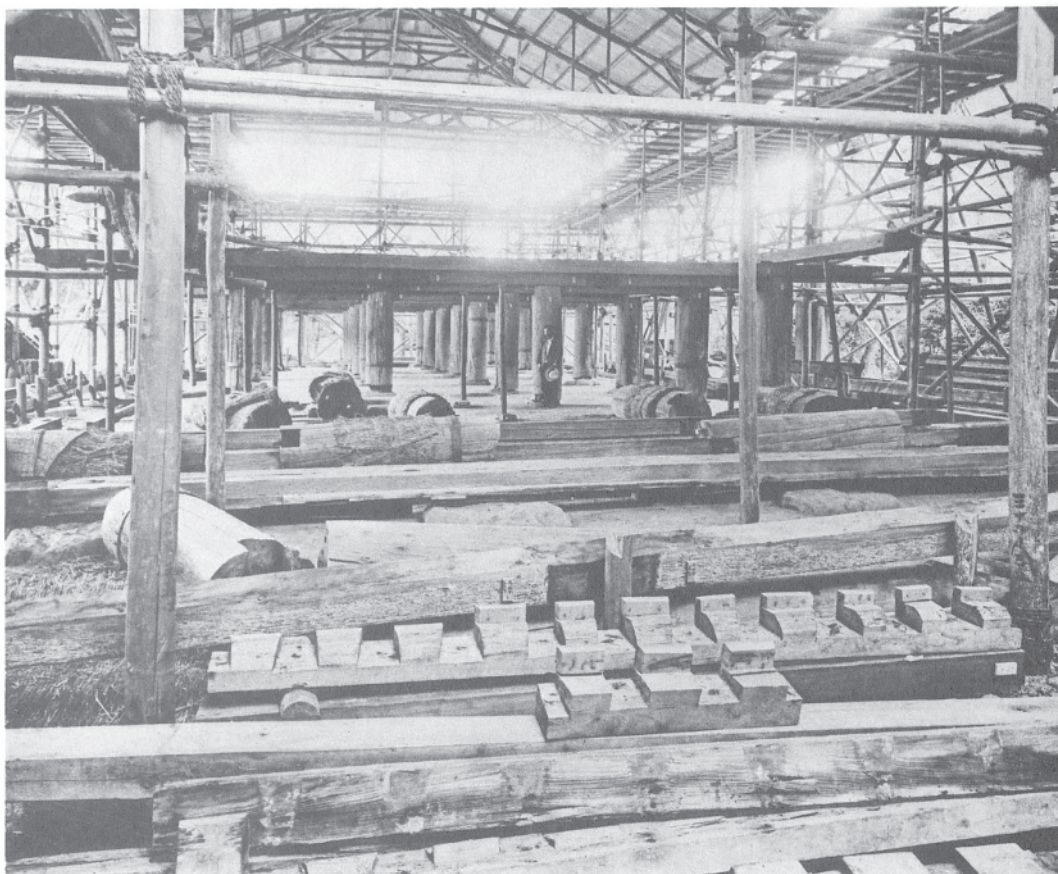
「第三三号 宝庫中倉西側ヨリ北倉床下大樑根元石口切縮メ現況」。原題には東柱根元石口の切り縮めとあるが、実際どれほど加工されたかはわかっていない。



187 大正修理時の東柱解体状況
「第三四号 宝庫北倉北側ヨリ床下大枿取解方現況」。東柱まで解体した状況。

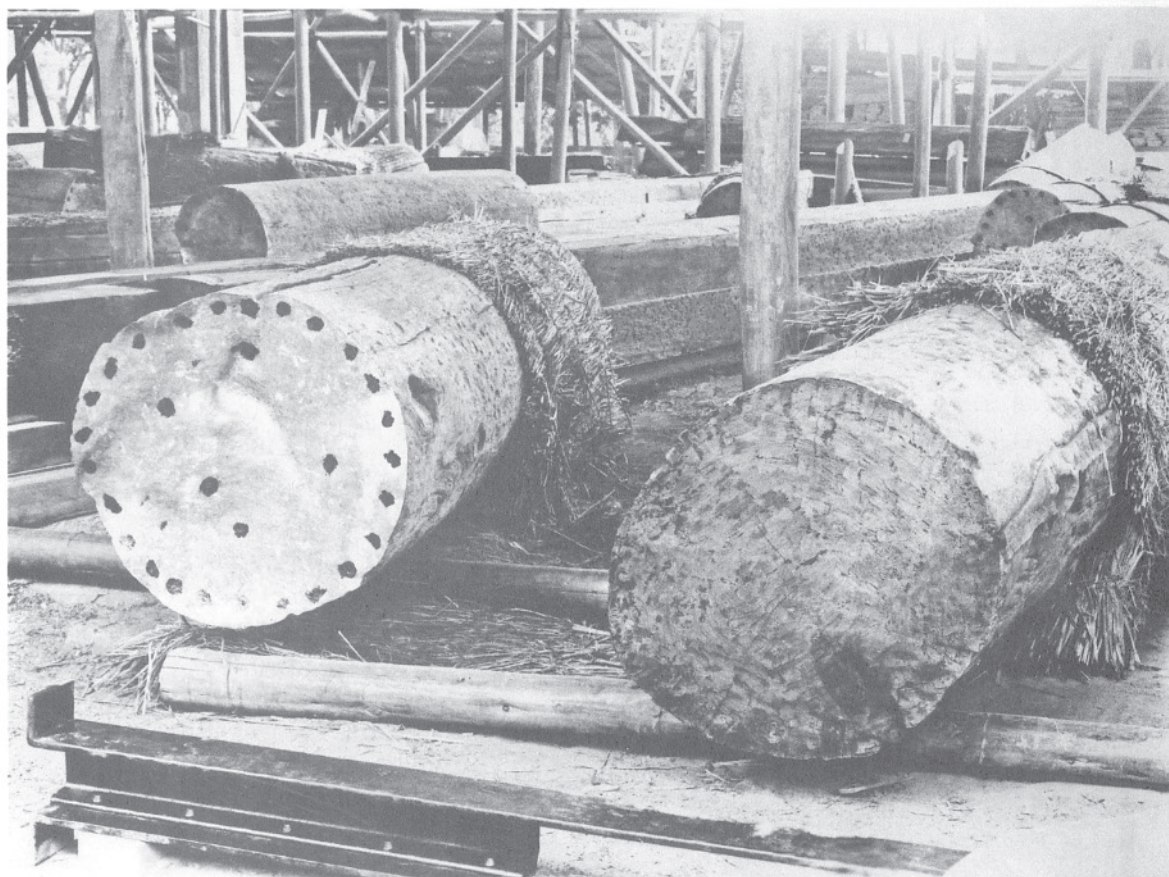


188 大正修理時の南倉東側東柱上部の腐朽状況
「第三五号 宝庫南倉東側柱上部中央朽損ヲ見タル現況」。東柱と頭貫との仕口部分が腐朽している状況が見える。



189 大正修理時の束柱解体中の状況

「第三六号 宝庫南側ヨリ南中北倉大樑ヲ取解タル現況」。南から束柱を解体している状況。解体された木負などが見える。



190 大正修理時の解体した束柱足下の状況

「第三七号 宝庫大樑木口根元鉛板張方現況」。左が束柱下の木口に鉛板を打ち付けた様子。